

模擬試験を活用しよう！

7月11日、12日に模擬試験が行われました。1年生にとっては初めての全国模試受験になるわけですが、できたでしょうか。学年によって受験する科目も時間も異なるわけですが、「時間が長すぎて、半分以上寝てしまった。」なんていう人はいませんか。もしそんな状態ならば、それは明らかに勉強不足です。しっかり勉強をして、真剣に取り組めば、時間が足りないぐらいで普通です。特に3年生でこの時期の模試でそのような状態であれば、この夏休み相当頑張らないといけません。

この模擬試験は全国20万人以上の学生が受験する試験です。模試を受験する意味として最も重要なことは、現段階の「**自分の学力レベルを知る**」ということです。自分が理解できていることと理解できていないことを区別して、効率よく勉強を進めていくことが大切です。3年生にとってはもっと切実に自分の志望校に合格する可能性があるかどうか判定されるわけです。

では、**模擬試験をどういうふうに活用したらよいのでしょうか。**

模擬試験の受験直後

模試を受験しただけであとは何もしないのではいけません。受験後に復習することは非常に大切です。解答を見ながら、どういう箇所間違いだったのかを知り、その部分をしっかり勉強し直すことで知識が定着していくのです。合格を勝ち取った先輩たちの9割以上が、模試を受けた日から、遅くとも記憶が新鮮な1週間以内に復習しています。中には数回にわたって復習した人もいます。しっかり復習をして、できなかった問題を確実に解けるようにすることです。その積み重ねが苦手克服につながります。

- ・ 正解した問題でも（特になんとか解いた問題）
⇒ 本当にその理解・解法が合っているのかを確認する
- ・ 間違ったところ ⇒ 解説だけでなく、教科書や参考書等を見て徹底的にやり直す
- ・ 一度正解したのに間違えたら
⇒ 十分理解できていなかった。勉強をやり直す

結果が返ってきたら

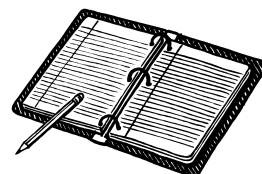
① **データを分析しましょう！**

自分がどの教科・科目、そしてどの分野が得意か、不得意かを知りましょう。自分の力を分析することは大切で、今後の勉強計画を立てる重要なヒントになります。得意教科を伸ばし、苦手科目を克服できる方法を考えましょう。そして、次の模試に向けて、目標を立てましょう。

②志望校判定に一喜一憂しない！まずは第1志望校でC判定を目指しましょう！

E判定を見ると、ショックを受け、もうだめだと思ってしまうがちですが、E判定でもどの位置にいるのか、あと何点とればC判定がつくのか等これもきちんと分析することが大切です。目標は3年生の秋の模試で第1志望校でC判定以上をとることです。現役生は試験前日まで伸びると言われています。最後まであきらめずに努力しましょう。

夏休みの過ごし方



《1年生へ》 1学期の復習を！

高校生になって初めての夏休みを迎えます。勉強にクラブ活動にしっかり取り組んでください。また終業式の日には、高校に入学して初めての成績表をもらいます。自分の学習状況や欠席、遅刻等の生活習慣について振り返ってみましょう。時間のある夏休みにまずは1学期の総復習をしましょう。各教科から夏休みの宿題もたくさん出ていると思います。計画的に取り組みましょう。

2学期には文理選択が行われます。これは、進路選択の最初の段階です。自分の進みたい方向がはっきりと決められていない人は、夏休み中に、「将来どんな仕事に就きたいのか」「大学や短大、専門学校等で何を学びたいのか」など、自分の将来の夢についてじっくりと考えてみましょう。

進路について考える一つの方法として、大学等のオープンキャンパスに参加しましょう。先日の大学見学はどうでしたか。高校とは違った雰囲気味わえたのではないのでしょうか。今度は自分の行ってみたい学校を選んで、そこで何を学べるのかを見てきましょう。9月の総合学習の時間に発表することになっています。

《2年生へ》 いろいろなことにチャレンジ！

2年生になって勉強する科目が増え、内容も難しくなってきた、授業についていけなくなっている人はいませんか。部活動でも中心となって頑張らないといけなくなり、忙しくて時間がないと悩んでいる人はいませんか。この時間のある夏休みはそれを克服するにはぴったりの時期です。しっかり復習し、また2学期に向けて準備をし、2学期にいいスタートをきれるようにしましょう。

また、夏休みは進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用して、いろいろと調べてみましょう。夏休みは多くの大学でオープンキャンパスが行われます。参加してみると、進路選択のヒントが得られると思います。最近では、2年生でもオープンキャンパスに参加する人が増えています。実際に行って自分の目で見て話を聞くということは大切なことです。また、複数の学校を見て比較することも大事です。ぜひ参加してみてください。

読書感想文コンクールに応募したり、エッセーを書いてコンテストなどに参加するのもいいと思います。いろいろなことにチャレンジしてみてください。

【ウラにつづく】

《3年生へ》 進路実現するために全力で勉強に取り組む夏休みです！

専門学校や短大のAO入試を考えている人は、8月から出願が始まります。出願する前に本当にその学校でいいのかも一度考えてみましょう。夏休み中に他の学校も見学して比較してみて、最終決定するのもいいと思います。

就職希望者は夏休み中に受験先も決定します。面接練習も始まります。夏休み中にしっかり学力をつけて、自信を持って入社試験に向かえるように、準備をしてください。

大学進学を志望している人にとっては、夏休みは思いっきり受験勉強に取り組める期間です。夏休み中の勉強の取組みが最終的に合否を分けるとも言われます。夏休みにすると良いと思われることを次にあげてみます。

- 志望校を決定する。
- 志望校の入試情報を収集する。
- オープンキャンパスに参加して、実際に志望校を見て来る。
- とにかく勉強する。得意科目を伸ばし、苦手科目を克服する努力をする。
- 補習等に積極的に参加する。
- 志望校の過去問を解いてみる。(夏休みの最後に仕上げのつもりで)
- 長い夏休みです。計画的に勉強しましょう。

これ以上できないというぐらい勉強する経験はきっと今後にも役に立つと思います。後悔しないように、充実した夏休みを送ってください。



『過去問のススメ』というリーフレットの中にマドンナ古文で有名な荻野文子先生へのインタビュー記事が掲載されていました。その一部をとりあげてみました。

Q 受験生にとって一番必要なことは何ですか？

最初から最後まで、「攻めの姿勢」を貫くことですね。大学をいまの学力によって決めるのではなく、「志望校のレベルに自分の学力を引き上げるぞ！」という**気構え**が大切です。高校球児が、甲子園を目標として厳しい練習に励むのと同じです。初めから諦めていては、レベルはどんどん下がってしまいます。

模試の判定が不合格で返ってきて、絶対にめげないこと。入試は、複数の知識が立体的に結びついて初めて1つの小問が解けるように作られています。だから、暗記の途中段階では解ける問題がなく、努力が成績に反映されないのです。あらゆる知識が揃った段階で、一気に解けるようになりますから、目前の成績に一喜一憂せず、最終目標に向かってひたむきに歩き続けてください。

こぼれ話 1

先日3年生と去年7月に行われた模試の英語の過去問を解いていた時のことです。英作文の整序問題でやや難しい問題をすらすらと解いている生徒を見て、よくできたねと声をかけたところ、授業（実用英語）で習ったところなんですと笑って答えてくれました。習ったところなんだからできて当たり前と思う人もいるかもしれませんが、習ったことをきちんと知識として定着させているということが大切なんです。

みなさんも授業を積極的に受けて、自分の力にしていってくださいね。

こぼれ話 2

「ピリギヤル」の著者である塾講師の坪田信貴先生がピリギヤルさやかちゃんが「受験生」として優れていた所として次のようなことを言われています。

とにかく、「毎日」「コツコツ」学習したことです。高2の夏だったのに、小学4年生レベルの学習にも、謙虚に戻って学習をしたことです。「受験」ってなんだかんだ言ってもある程度の期間戦わないといけないので、感情の波が出て、やったりやらなかったりします。でも、彼女はやりきりました。そこがとても優れていたところだと思います。

